



東高同窓会だより

〈第5号〉

平成29年(2017年)

4月20日発行

長崎東高等学校 関西同窓会

編集発行人:手嶋 孝

◆◆ 第5回総会・懇親会より ◆◆

昨年11月5日(土)13時より、大阪新阪急ホテルにおいて129名の出席者のもと第5回総会・懇親会が盛大に開催されました。平成24年の設立以降の総会出席者数は減少傾向でしたが、お陰様でこの傾向に歯止めがかかり増加に転じる兆しが見えてきました。(図1参照)。要因の一つに、さるく会への参加勧誘活動が活発に行われた事が挙げられます。さるく会参加者数は回を追う毎に増加し、この活動に連動してホームページへの訪問者数も急増してきました(図2参照)。また、ホームページの内容が充実し大変見やすく編成されていることも功を奏している様です。発足以来これまでの地道な活動が皆様に浸透し、関西同窓会への関心が徐々に拡がりつつある事を示しています。

図1 総会出席者数の減少傾向に歯止め

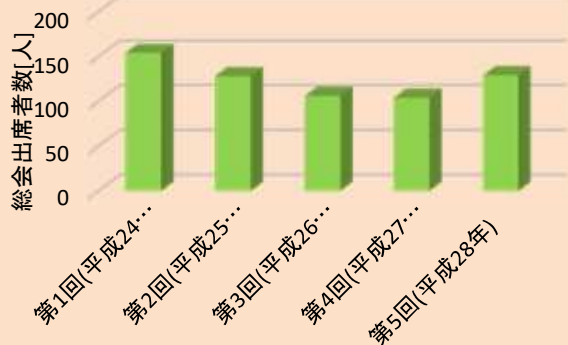
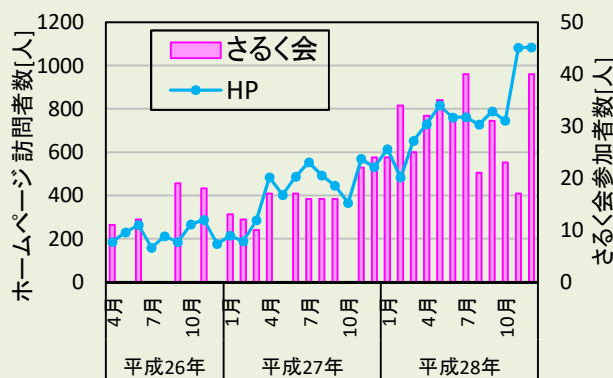


図2 関西同窓会への関心拡大



総会第一部は泉田事務局長による活動報告と会計報告。そして、年度の予算案と役員改選が満場一致で承認されました。第二部懇親会では、関西同窓会・平会長が挨拶され、母校の平山副校長からご祝辞と近況報告。長崎東高同窓会・波多野会長からご祝辞と同窓会活動の現状をお話し頂きました。

続いて、テーブル毎の自己紹介タイム。そして、関西同窓会・三田村相談役の発声による乾杯の後は美味しい料理とお酒を頂きながらの歓談。時折、関西弁が混ざった長崎弁丸出しのおしゃべりは尽きることがありません。更に、毎年好評のお楽しみ行事、長崎学クイズ大会。難問奇問続出で会場は大盛り上がり。テーブル毎の団体戦は「○」だ、いや「×」だと大騒動。結果は一番若手のテーブルが優勝賞品をゲット。それぞれホテル食事券やお酒のボトルなどの賞品を手に入れ嬉しそうでした。

最後は全員が肩を組んでの校歌斉唱。はち切れんばかりの歌声はまさに学生時代そのものです。2時間半の集いはあっという間に過ぎてしまいましたが、みなさんの心には東高の、そして今回の出会いの思い出が永遠に残る楽しいひとときとなりました。来年度の総会がさらに盛況になること、そしてまた元気に再会できることを祈念してお開きとなりました。余韻とともに、その後2次会へと向かった人も多かったようです。



* 関西さるく会 *

◆第26回「姫路さるく」

冬晴れの年の瀬、初参加の8名を含めて40名のさるく会が開催されました。雲一つない青空に眩しく聳える姫路城天守閣を背景に記念撮影。早めの昼食を摂ったあとはガイドさん付きの城内見学。400年の時を超えて優美な姿を残す世界文化遺産の歴史やビュースポットを詳しく、またユーモアを交えた説明に皆さん聞き入りました。

最後は、恒例の反省会で楽しく一年を締めくくりました。



今後の予定 (変更の場合はHP掲載)

4/23	滋賀大津：なぎさ公園（芝桜）他	8/27	兵庫明石（タコの旬）：天文台他
5/28	兵庫須磨：須磨離宮公園（バラ）他	9/24	大阪万博公園：太陽の塔他
6/25	京都鴨川：下鴨神社、上賀茂神社他	10/22	奈良橿原神宮：橿原神宮（菊）他
7/23	奈良大和郡山：金魚館、郡山城他	11/26	大阪御堂筋：御堂筋（銀杏）他
		12/17	兵庫神戸港：ハーバーランド他

◆さるく会メンバーの紹介

4回生 林 由紀子（旧姓 西川）さん



笑顔がとても素敵でお洒落な常連メンバー。いつも先頭集団をお元気に颯爽と歩いておられます。健康の秘訣を伺ってみました。

学生時代はバスケットボール、結婚後は30歳からママさんバレーボールをやっておられたスポーツウーマンです。旦那様の転勤で、東京、名古屋、大阪、京都と住まいを替わりながら息子さん3人を育てられました。そして、50歳から旦那様と登山を始められたそうです。山登りの魅力にひかれて、その後は登山グループに入会され、日本アルプスなどの著名な山々にも登られています。

「健康の秘訣といっても特に何もやっていません。ただ、自家用車を持たなかったので、歩け歩けと頑張っている事が健康維持に繋がっているのかもしれない。食事も特に気を付けていることはなく、食材が偏らないようにと気を配っているだけです。そして、怪我をしないように注意しています。」と答えられました。

(インタビュー：手嶋 健康維持の秘訣は一貫して体を動かす事と心得ました。)

* 関西ナイスショット&ファアの会 *

第6回コンペが11月19日(土)に奈良万葉CCで開催されました。12回生の後藤さん、16回生の仲田さん、25回生の多田さんが初参加で3組11名のコンペとなりました。天気予報とは裏腹に殆ど雨の影響はなく、少し色づく紅葉の中、好プレー(バーディ) 珍プレー(ファア、池淵キック)ありと、終始和気藹々で楽しい一日を過ごすことができました。

結果は、10回生の三田村さんが見事初優勝。準優勝は佐藤さん、3位は多田さんでした。

本会は年2回(春秋)開催しており、競技というより親睦、健康増進の会です。年齢も問いませんし、関西在住者以外の方々の参加もウエルカムですので、お気軽にご参加下さい。

第7回コンペも以下の内容で開催されました。詳細は長崎東関西同窓会HPをご参照下さい。

- ◆日時：4月1日(土) 9:27スタート
- ◆場所：法隆寺カントリー倶楽部
- ◆組数：3組



幹事：32回生 林田

* 地区懇話会：奈良 *

1月14日に奈良地区懇話会の新年会を13名で開催しました。会は25回生長岳さんの乾杯の発声で始まりました。世代を超えて一気に盛り上がり、話が弾みました。やはり、皆様が遠く離れた長崎の同窓という共通のベースを大事に思っているからでしょうか。色々な偶然が重なって同じ奈良に住み、そして、この時間に、この場所で新年を祝っている。この貴重なご縁は大切にしたいですね。話題は、定年退職後の時間や余生の過ごし方、過去の思い出、原爆の時の自分、高校時代のこと等々多岐にわたり、話は尽きません。あつという間の3時間。正月早々、とても有意義な時間を過ごすことができました。奈良地区懇話会会長として24回生の松尾さんが選任され、松尾会長の下、奈良地区懇話会をより一層盛り上げて行こうということでお開きとなりました。(23回生 手嶋記)



* 地区懇話会：播磨東風会 *

東風(コチ)吹いて、春うらら♪

3月19日、姫路にて「播磨東風会」を立ち上げました。発端は「さるく会、参加したいけど、関西の西の果てからはあまりに遠くて・・・」と誰かさんのつぶやき。そこは聞き逃すはずもないF地さん、すかさず、「その辺で懇話会を立ち上げたら」と特命が。播磨の国の同窓生に声掛けしたら、8人が集まってくれました。『関西の更に西国の隅っこで楽しい集いを!』でな感じで、ランチしながら、まるで昨日の事のように50年前の話をしたり、ホントに昨日の話をしたりと楽しい時間を過ごしました。さて、この会をどんな会にしていこうか? 「播磨エリアにもいっぱい魅力的な所あるよね」、播磨エリアのさるく会&グルメ&郷土歴史探訪etc. 今からワクワク(^_^)です、楽しい会になること間違いなし!! まあ、「ポチポチやっぺいこうや」と、姫路城をバックに写真撮影し、散会しました。(正) (25回生 松崎記)



* 関西地区学生交流会：卒業お祝いの会 *

3月4日に、関西の大学を卒業する学生同窓会員のお祝い会を44回生西坂さんのお店「満海」で行いました。参加者は卒業生4名(合家君、小柳さん、井上さん、松平さん)、昨年入学された学生2名(68回生宮崎さん、小柳さん)、先輩方9名+ちびっこさん1名の総勢16人です。

平会長のお祝いの言葉と乾杯の発声で和やかに始まった会はおいしい料理、お寿司を食べながら故郷の話を中心に大いに盛り上がりました。大学院に進む1人と就職し東京と関西に在住する3人のわくわくした思いや学生時代に農学部で一生懸命実習した事等の話も聞けて楽しい会になりました。最後にお店の前で記念撮影、ニコニコの笑顔で会は無事終了しました。(24回生 泉田記)



* お知らせ：写真クラブの発足と会員募集！ *

関西同窓会の三番目の同好会「写真クラブ」が誕生しました。 <http://eastkansaiphoto.sakura.ne.jp/>
会のキャッチフレーズは「四季の素晴らしい風景や楽しい出来事をお気に入りの写真として残しませんか」。そして、「親睦と技術の向上、四季と地域の再発見を目的とした活動」を目指します。



活動は毎月の作品投稿と年一回の撮影会参加。道具はデジタルであれば一眼レフ・デジカメ・スマホなどいずれもOK。年会費1,000円のみ。主にWEBサイト上での活動ですので、現役の方や他地域の方も気軽に参加できる同好会です。申し込みはWEBサイト「お問合せ/ご連絡」欄から下記電話までお願いいたします。

写真クラブ事務局：19回生 福地定義 (090-7350-5817)

☆☆活躍する同窓生☆☆

今回は、高槻市在住で高槻市立柳川中学校校長としてご活躍中の27回生 永尾好輝さんです。

思えば遠くへ来たもんだ…、ふるさとは遠きにありて思ふもの…。

人生60年、長崎生まれ育ち、私は「長崎人」であると思っていた。思っていた…ではなく、今でも思っている。しかし、長崎での人生と大阪でのそれは倍以上の差になった。子どものころの長崎と、学生・社会人として生きてきた大阪。今では、ほぼ関西弁をこなすバイリンガル？である。（尤も、家人に言わせれば、ヘンな訛りのある関西弁らしい…。）両親が他界し、長兄が実家にいるが、トンと帰崎する機会が減った。お盆や正月には、私の家に親戚や教え子達が集まる。私もおじいちゃんの世代なのである。大阪の大学を卒業し、大阪府に採用され、高槻市で教員生活を送ってきた。途中、リヤド日本人学校（サウジアラビアの首都）で3年間をおくり、湾岸戦争に出くわし、スカッドミサイルの攻撃や避難のための千キロ程の砂漠の中の移動も経験した。成田に着いたときのマスコミのフラッシュは今でも脳裏に焼きついている。



その後、大阪府教育委員会事務局に身を置き、慣れないデスクワークをこなした。また長年に亘ってハンドボール部の指導に携わり、後に日本代表として活躍する生徒も何人か育てた。その一人が北京アジア大会で準優勝となり、獲得した銀メダルを私の首にかけてくれた時は万感の思いであった。そして今、校長として最後のお勤めをしている。なかなか波乱万丈の教員生活である。

そんな私が好きな詩句がある。室生犀星の「小景異情その二」冒頭の「ふるさとは遠きにありて思ふもの そして悲しくうたふもの…。」である。これは、ふるさとを思いながらも帰れない悲しい気持ちを綴った詩ではない。ふるさとを忘れず都でしっかりとこれからも生きていく決意を、ふるさとの地で綴った詩である。最後に犀星はこう結ぶ。「遠きみやこにかへらばや 遠きみやこにかへらばや」と。私は「長崎人」として大阪で生きるのだ。思えば遠くへ来たもんだ…。

◆◆ 在京同窓会からのたより:在京同窓会総会 ◆◆

第44回長崎東高在京同窓会は平成28年10月15日（土）午後4時から昨年と同じ東京九段下のホテルグランドパレスにおいて、ふるさと長崎から平山副校長先生他多数の来賓の方々と招待恩師として松下勝也先生（当番幹事と同期の33回生）をお招きして盛大に行われました。参加人数は昨年より若干少ないものの200名を超えました。

今回のテーマは「新発見！ふるさとの菓子 再発見！同窓の絆」、最近の長崎スイーツ（我々があまり知らない、長崎空港でしか売っていない珍しいお菓子等）を地元から取り寄せ、当番幹事と若手応援隊が駅弁販売スタイルで各テーブルを廻って参加者に試食サービスするという趣向が大いに受けました。恒例のイベントは、宮崎あずささん（64回生）、宮崎洋子さん（33回生）母娘によるヴァイオリンとピアノのコンサート、昨年大変盛り上がった全員参加のフォークダンス、そして最後に真打登場、東龍倶楽部による龍踊りで会は最高潮に達しました。

今回も20代の学生世代の若い回生が多数参加してくれてとても華やいだ総会になりました。第31回総会以来の2度目になる当番幹事を引き受けてくれた33回生、その後輩を当日、全面的にバックアップした23回生幹事の方々の奮闘の賜物だといえます。（在京同窓会会長 北澤様寄稿）

